

## 第22回

# 日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2007年12月

## 目次

---

### 第1会場

1. ニセコ地域におけるインバウンド促進の実態と課題について 1  
市岡 浩子・成澤 義親・河本 光弘
2. 農業を活かした地域観光振興策 5  
—ニセコ・ビュープラザを事例として—  
河本 光弘
3. 韓国と日本の映画に見る鳥観光のイメージ 9  
許 文卿・金 民哲
4. 新聞にみるスキーのイメージの変遷 13  
蔡 珠姫
5. 北大キャンパス空間の観光活用のあり方に関する研究 その1 17  
—キャンパスツアーにおける学生ボランティアシステム構築の試みと  
その持続に向けた課題の提出—  
岡本 健・山村 高淑・大谷 あやの・小野 千咲
6. 観光創造における鉄道サービスの新たな視座 21  
清水 洋介
7. 市民参加による地域資源の発掘と活用のプロセスに関する考察 25  
—旧国鉄宮原線跡地の活用事例—  
嵩 和雄
8. 観光がまちなみ保全へ果たす役割 29  
—沖縄・波照間島の伝統的建造物群保存地区へ向けた動きを事例として—  
峯俊 智穂
9. 観光地における地域アイデンティティ形成に関する研究 33  
柿島 あかね
10. 沖縄・八重山の石西礁湖におけるダイビング業の現状と漁業者との関係 37  
中谷 誠治

11. 地域文化の展示と観光活用 —「岡山桃太郎王国記念館」の事例を中心に— 加原 奈穂子	41
12. 市街化区域農地における消費者交流型農業の展開 井上 努	45
13. 観光パンフレットの史料としての活用に関する研究 高嶋 竜平	49
14. 「ベトナム雑貨」観光の生成と展開 臺 純子・鈴木 涼太郎	53
15. 在タイ・カヤン族（首長族）の現状に見る、民族・文化観光の問題点 須藤 廣	57

## 第2会場

16. 地域活性化に貢献する宿泊産業の地域連携に関する研究 孫 鏞勲・大野 正人	61
17. 宿泊業におけるホスピタリティに関する研究 —北海道の温泉宿泊施設を中心として— 和田 早代	65
18. ホテル業で求められる人材像に関する研究 —社会人基礎力との関係を中心に— 金 蘭正・金 振暁・丹治 朋子・岡本 伸之	69
19. 「観光価値」形成の視点 捧 富雄	73
20. 旅行市場におけるオピニオンリーダー層の特性と その影響力についての研究 塩谷 英生	77
21. 団塊の世代の一斉退職後における旅行業界の展望 早川 伸二・日比野 直彦・大井 尚司	81
22. リゾート地としてのニセコ地域における 今後の観光振興のあり方についての考察 —サステイナブルツーリズムの視点から— 千葉 里美	85
23. 群馬県板倉町における観光振興計画策定に関する一考察 古屋 秀樹	89
24. 占領下京都における国際観光振興について 工藤 泰子	93

25. 遍路における接待の意味と役割 —日本におけるホスピタリティの実践— 前田 勇	97
26. 日本の「海水浴の大衆化」について —岡山県の海水浴場の歴史を例として— 上田 卓爾	101
27. 明治以降の関東圏の別荘における交流形態としての茶の湯 高柳 順一・安島 博幸	105
28. 途上国とのエコツーリズム協同開発—パラオの事例 畠田 展行	109
29. フィリピン国パラワン州のユネスコ世界遺産とエコツーリズム 岡崎 悦子	113
30. 観光者の「観る」体験に関する心理学的研究 —自然観光における解説活動の社会心理学的検討を中心として— 相澤 孝文	117

### 第3会場

31. 観光地における地域協働型リスクマネジメント体制構築の必要性 稲葉 正思・敷田 麻実・森重 昌之	121
32. ドイツ ユーバーリンゲン市におけるテルメ建設に対する 住民参加と合意形成のプロセスに関する研究 小関 信行	125
33. 観光開発に対する地域住民意向の経年変化に関する研究 —西表島における住民意向調査結果を用いて— 大谷 健太郎・仲村 篤	129
34. ブーケット島における持続可能な観光による地域開発： 観光客の満足度と観光地化が地域住民に与えた影響 トウ・サクン ウォラウィット・西川 芳昭	133
35. 決定木によるホスピタリティ情報の分析 —全国の水族館が提供するWebコンテンツを中心として— 朴 在徳・原 辰彦	137
36. 北海道のオートキャンプ場に対する 利用者評価及び利用者数を左右する要因 小林 昭裕	141

37. 法定外税制度による観光財源確保と 規制緩和の影響に関する経済学的考察 大井 尚司	145
38. 観光地づくりにおける観光資源水準の影響 味水 佑毅・鎌田 裕美	149
39. 観光地のイベント効果に関する基礎的考察 —滋賀県長浜市を事例として— 大矢 正樹・近藤 勝直	153
40. 町並み保存の潮流を背景とした川越一番街への新たな視点の転換 井上 晶子・安島 博幸	157
41. まちの魅力という観点から捉えた温泉商店街の建物の空間構成 —草津温泉と粟津温泉との比較— 田代 展子・堀 繁	161
42. 歴史的集落・町並みの類型化に関する基礎的研究 松永 和幸・十代田 朗・津々見 崇	165
43. 中国の高等職業教育におけるサービス意識の養成に関する考察 —上海旅遊高等専科学校の事例を通して— 殷 娟	169
44. インバウンド産業としての教育 朝水 宗彦	173
45. 旅行記事における日常性の表現に関する考察 村上 和夫	177

#### 第4会場

46. 観光目的地における地域ブランドに関する実証研究 —都道府県を対象としたブランド構築の方向性— 岩崎 邦彦・小林 加奈	181
47. 観光まちづくりにおける物語性の援用 —松山市「【坂の上の雲】を軸とした21世紀のまちづくり」を事例として— 山崎 隆之・十代田 朗	185
48. 観光による地域ネットワークの再構築 —北海道標津町を事例に— 森重 昌之・宇佐美 淳子	189
49. 新しいニーズに対応した観光地での受け入れ体制についての基礎的研究 小阪 昌裕・金井 萬造	193

50. 持続可能な登山のための登山ゴミの実態に関する研究 —白山国立公園における事例分析— 横内 伸泰・敷田 麻実	197
51. サステイナブルツーリズム論—地球温暖化と観光産業 九里 徳泰・小林 裕和	201
52. 観光ボランティアガイド組織におけるサービスの品質管理に関する一考察 住木 俊之	205
53. 「新しいたび」を意識した地域づくりのダイナミズムと 持続的なイノベーション 清水 慎一・小林 裕和	209
54. 成熟社会における旅行のあり方に関する研究 I —江蘇地区水郷文化を視点として 中鉢 令兒	213
55. 和歌山大学観光学科における初年次教育の実践 廣岡 裕一	217
56. 和歌山大学観光学部のカリキュラム設計と初年次教育 小畑 力人	221
57. 高等学校における観光教育のカリキュラムマネジメントと持続性 宍戸 学	225
58. 近世後期の温泉地における長期滞在の生活スタイルに関する研究 内田 彩	229
59. 東・西茶屋街の歴史的経過と観光客誘引の差についての考察 佐藤 有良	233

## 第5会場

60. ディスカバー・ジャパン・キャンペーンの方法 及び対象に関する基礎的研究 林 真希・十代田 朗・津々見 崇	237
61. 日本に対する中国北京市民の観光需要に関する考察 鳥 恩	241
62. インバウンド・ツーリズム振興の基本的要件 藤尾 邦大	245
63. 日光と箱根における観光者の行動・評価特性の分析 —外国人観光者と日本人観光者の比較— 野瀬 元子・古屋 秀樹	249

64. 農山漁村における長期滞在システムについての基礎的研究 三浦 知子	253
65. 農村観光の進展による周辺農業への影響 山田 耕生・中村 哲也	257
66. 中山間地域の農産物直売所を核とした住民活動の展開に関する研究 小野寺 千夏	261
67. 韓国南海郡尚州里における民宿経営の現状 鄭 玉姫	265
68. 農山村地域における交流人口とツーリズム 尾家 建生	269
69. アミューズメント・スポットにおける 「第三の視点」の可能性に関する一考察 秋山 綾	273
70. 趣味の観光パフォーマンス—秋葉原、池袋、日本橋を事例に— 遠藤 英樹	277
71. 文化によるまちづくりとしての漫画・アニメの利用とその現状 李 根熙	281
72. 近代中国における高原避暑地の形成と変遷—鶏公山を事例に— 潘 丹	285
73. 韓国におけるスキー場周辺地域とスキー場門前町に関する研究 張 景泰	289

## 第6会場

74. 水辺景観を活かした観光地形成に向けた官民連携手法に関する一考察 五艘 みどり	293
75. 倉敷・美観地区にみる観光地の盛衰と景観論議の関係に関する一考察 土田 夢子・十代田 朗・津々見 崇	297
76. インターネットが購買行動に与える影響 —ホテルにおける食材仕入れのケース— 田尾 桂子・市橋 純	301
77. 地域における観光福祉の確立に向けて—着地型旅行の可能性 中子 富貴子	305
78. 留学生のネットワークを活かす「個人旅行」に関する考察 初 丹丹・村上 和夫	309

79. 都市観光地の発展における人に関する研究 余 京珍	313
80. 岸和田城界隅の新しい文化資源による観光の研究 奥 正孝・高倉 美佐子	317
81. 路面電車の観光活用に関する研究—函館市の事例— 正木 聡	321
82. 新座市の観光都市づくりに向けた一考察 佐野 浩祥・井上 努・津々見 崇・安島 博幸	325
83. 世界遺産高野山における交通社会実験の実施課題の整理 西井 和夫・岸野 啓一・後藤 正明	329
84. (財)千葉国際コンベンションビューローのマネジメント 金 錦香	333
85. リゾート地の再活性化 —会津高原たかつえリゾートと周辺地域への集客手法— 川島 千明	337

ポスターセッション (2007年5月26日(土)発表)

1. スイスと日本の風景比較の記述 青木 陽二	341
2. 観光と模型：観光施設を「異化」することによる「楽しさ」の考察 井上 努・高嶋 竜平・村上 和夫	343
3. 「観光立国」と地域都市の地域性への一考察 小長谷 悠紀	345
4. 能登半島地震による風評被害に関する一考察 佐野 浩祥・安島 博幸・村上 和夫・中森 勉	347
5. 歴史的環境保全の潮流と川越一番街における視点の転換 井上 晶子・安島 博幸	349
6. 能登半島地震にみる避難・救援活動拠点としての観光施設 安島 博幸・村上 和夫・中森 勉・佐野 浩祥	351
7. “持続可能な観光論 —ケーススタディ屋久島への観光のLCA評価と ツーリズム産業のグリーン化” 九里 徳泰・小林 裕和	353
8. “中国の自然観光の実態と課題—5箇所の公園について” 鳥 恩・熊谷 圭介・青木 陽二	355

9. 近世後期の湯治場における滞在者の行動に関する考察 内田 彩	357
10. 持続可能な観光に向けた地域外観光システムとの 関係性構築とそのマネジメント 敷田 麻実・森重 昌之	359
11. “持続可能な地域の実現に向けた観光・交流活動の戦略的活用に関する 仮説の提案——北海道黒松内町の地域振興プロセスを事例に” 森重 昌之・敷田 麻実	361
12. “観光地における持続可能なボランティア組織の条件 ——北大キャンパスビジットの事例から” 岡本 健・敷田 麻実・森重 昌之	363
13. 観光まちづくり学習の基本設計に関する考察 大西 律子・富澤 浩樹	365
14. メディア開発プロセスを利用した観光まちづくり学習の試験的運用 大西 律子・富澤 浩樹	367
全国大会研究発表論文募集要項	369
日本観光研究学会ポスターセッション募集要項	371
全国大会研究発表論文集投稿規定	373